



市政

菊池市政に民間企業での経験を!

意思決定・政策のチェックの場に
培った視点を活かします

活動通信

平成31年3月議会 vol.4
Kikuchi city council member Report

福島ひでのり

平成最後となった3月議会が終わり、次の6月議会は新元号“令和”元年での開催となります。

我々議会も新たな気持ちで**議会改革**を進めるとともに、菊池市の発展のため、議会においては何事にも臆することなく「是を是として認め、非を非として反対し、公平的な立場」を貫いてまいります。

この市政活動通信も今回で4回目の発行となりました。

発行後には、ありがたいことに皆さまから電話やはがきやお手紙をたくさん頂戴しております。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、一般質問等にも活用させていただいております。



Profile

- 1961年 7月 菊池市七城町高田生まれ (57歳)
- 1979年 3月 七城小学校・中学校を経て、鹿本高校卒業
- 1986年 4月 日本電子材料株式会社入社
- 2009年 10月 慶応義塾大学経済学部入学
- 2012年 4月 日本電子材料株式会社韓国法人(同和 JEM) 代表理事副社長
- 2018年 3月 日本電子材料株式会社退社
- 2018年 5月 菊池市議会一般選挙に出馬し、初当選 (1期目)

あれはどうなってる??

昨年12月議会で骨髄移植ドナー登録のための啓発活動として菊池市でも助成制度への取り組みを提案しました。

今年2月に、水泳の池江璃花子選手が白血病を告白されたことで、全国規模でドナー登録者が急増しているとのこともあり、3月議会で菊池市の現状と助成制度の仕組みについて執行部に尋ねましたが、残念ながらドナー登録者数の増減すら把握されていなく、市独自の助成も行わないとのことでした。

国からの指示待ち体質で、自らが行動する意識の希薄さを感じています。

連絡先

〒861-1357 熊本県菊池市七城町高田 640-1
TEL: 0968-24-3087 090-9076-1245 (携帯)
発行者: 菊池市議会議員 福島英徳

※今回から e-mail アドレスも掲載しますので、より多くのご意見をお待ちしています。
e-mail: kenfuku2001@yahoo.co.jp

市民の声を市政に活かす 一般質問

議員個人が、市政について疑問点をたずね提案し、改めたいこと・実現したいことに関する報告や説明を求め、市長や部長等が答弁します。答弁内容から、執行部が適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

50%以上を占める森林に対する本市の取組みについて

福島：平成30年3月現在、本市における林野面積は、15,176ヘクタールで率にして54.8%です。そのうち民有林が83%です。（国有林は2,569haで17%、市有林は1,196haで8%、私有林は11,411haで75%）本市の54.8%を占める森林、国有林を除くと45.5%の民有林をどのように活かすか？先ずは本市が森林整備を進めるにあたり課題も多いと思われる。今抱えている課題とその課題への対策案をお示しください。

経済部長：近年、木材需要・価格の長期低迷等により森林所有者の森林に対する意欲が薄れ、枝打ち・間伐等の森林施業が十分なされておらず、また森林所有者の所在もわからない森林も増えており、森林の持つ災害防止や*水源涵(かん)養など公益機能の発揮が危ぶまれ、林業の持続性も懸念されています。

相続等により森林を所有しても所有林の場所や隣接する山林との境界が不明瞭となっている場合もあり、森林整備がなかなか進まないという問題もあります。

平成31年度に創設が予定されております森林環境譲与税（仮称）を活用して、森林整備に取り組んでいきたいと考えております。

福島：一昨年末に*森林環境税および*森林環境譲与税（仮称）の創設が決まりました。森林環境譲与税は、平成31年度から自治体への譲与（配分）が開始されます。

本市には森林環境譲与税が、平成31年度から3年間固定で1,800万円が配分されるとのことですが、その活用方法をお聞かせください。3年間同様の活用方法であれば単年度ごとの説明は不要です。

経済部長：森林整備等に必要の森林所有者の行方調査、意向調査および林地台帳の整備を予定しておりますが、具体的な用途については今後の状況を見て

考えたいと思っています。

福島：先般、市民の方が保有されている山を見に行きました。30ヘクタールほどの面積でしたが山中を軽トラックで走れるほど管理されていました。杉やヒノキの間伐もきちんと行われていて、光は地面まで届いて明るく、モデル化したいほど立派なものでした。一方、竜門から八方ヶ岳一帯の森林の状況も見ましたが、ほとんどの森林は間伐や枝打ちが行き届いてなく、木の発育は悪く枝が張って光も通さずツルは巻き付き荒地といった感じでした。

昨年の7月には西日本豪雨災害がありました。線状降水帯の発生場所によっては、本市への影響も十分にあり得たと思います。とても対岸の火事とは思えません。市長の施政方針にもあったように災害に強いまちづくりを進めるためにも、このような土砂災害未然に防ぐ対策が必要ではないでしょうか。

森林整備の課題と対策や森林譲与税の活用法においては外部委託になると思いますが、今後林野部門においては少なくとも市職員の負担が増えると考えられます。そのような状況に対して、現在の所管である農林整備課の増員もしくは、課を新設する等の対処が必要だと考えますが、市長の考えをお聞かせください。

市長：森林整備に関する今後の対応策ということですが、そのことにつきましては十分に配慮していきたいと考えています。

また菊池にとって林業は、皆さまに未来を感じていただけるように支援していきたいと考えております。

福島：災害を未然に防ぐための取組みは急務です。市民が森林と触れ合い、楽しむ機会ができる環境づくりも大事ではないでしょうか。間接的にも人的災害が発生しない、災害に強いまちづくりの実現に向けた取組みを本気でお願いします。

図書館のあり方について

福島：知的欲求を満たす市民サービスであり、社会的福利厚生施設である図書館のあり方について質問します。

平成31年度の当初予算での図書館費は、1億5,429万となっています。

この予算は中央図書館および、泗水・七城・旭志各図書館の総予算だとお聞きしていますが、大半は中央図書館に使われると思います。その中央図書館や学習センターが、泗水や七城そして旭志の市民（特に子供や高齢者）にどのようなサービスを提供されているのか、考えをお聞かせください。

教育部長：中央図書館を本館、泗水・七城・旭志を分館として直営でサービスを行っています。また、生涯学習の拠点として地域公民館と連携しながら、生涯学習に力を入れております。

各分館は、地域の方々に親しみある図書館としてのサービスに重点をおいており、小中学校や保育園も近いことから、子育て支援サービスも業務と捉え一人でも多くの方に立ち寄ってもらえる分館を目指しております。

その他、週に2回は各分館を配送車で巡回し、地域の図書館でも好きな本を受け取れるシステムを構築しサービス向上に努めています。

福島：平成30年1月から12月までの来館者数は、20万9,793人です。中央図書館が70.6%、泗水図書館が23.6%で全体の94%を占めています。

このような状況からも、図書館の機能やあり方について見直すことも必要かと思いますが、考えをお聞かせください。

教育部長：現在図書館では、蔵書の充実に向けて取り組んでおりますが、その他に平成30年12月から電子書籍を導入しました。

仕事の都合等で図書館の閉館や休館時でもタブレットやパソコンなどで利用できるということで、今後市民の方々への周知をはかり多くの方に利用していただけるように進めてまいります。

オープン以来5つの*データベースを導入し、高校生向けや一般ビジネス向けに行っておりますが、利用頻度が少ないということで、31年度に向け更に市民への周知と利用講座の拡大を行う予定です。

これまでは子供向けのイベントを数多く行ってきましたが、今後は高齢者向けに脳トレ講座等、多種多様の催しを行い、より利用者目線のサービスに努めてまいりたいと思っています。

また歴史や文化など、地域の記憶をデータ化する取り組みを行うとともに、更なる利用者拡充に向けて図書館機能の強化はもとより、小中学校・幼稚園・保育園や市内三つの高校とも連携しながら、知識・情報・交流の拠点として多くの人が出会いを楽しめるように利用者の満足に努めてまいります。

福島：立派な箱モノを造ったとしても、運営をきちんとして利用価値を高めなければ、単なる自己満足にすぎないと思います。

そのために何億もの税金をつぎ込むことこそ、無駄遣いの何物でもないと考えます。

最後になりますが、問題視されている閲覧用椅子に関して提案させていただきます。

12月議会で荒木議員からの一般質問に対して、執行部からは「世界トップの匠の技を体感してもらいたい」といった趣旨の答弁をされています。

人間とは価格を知って初めて、その物の価値を知るものです。正月のテレビ番組で「芸能人格付けチェック」と題して、さまざまなものを格付けしています。有名芸能人でも、3,000万円のワインと500万円のワインの判別ができないのです。また、宝塚トップスターが3億円のヴァイオリンと2,000万円のヴァイオリンが判別できないのです。

執行部から前出の答弁をされるからには、効果的に活かす必要があります。来館された方が一目でわかるように「世界トップの匠の技を体感してもらいたい」という趣旨で、対象の椅子の背もたれの裏面でもかまいません。「世界トップの匠の技 一脚10万円の椅子」とプレート等で明示されることを、声を大にして提案いたしまして、私の一般質問を終わります。

*水源涵養林

☞雨水を吸収して水源を保ち、あわせて河川の流量を調節するための森林。

*森林環境税（仮称）

☞国民から税金をいただくこと。（収入）

*森林環境譲与税（仮称）

☞森林環境税を森林の整備等に使うこと。（配分）

*データベース

☞集めたデータを、あとから検索しやすいように分類、蓄積したもの。



平成 31 年 3 月定例会 市議会のできごと

平成 31 年第 1 回菊池市議会定例会は、2 月 25 日から 3 月 22 日まで 26 日間開催されました。

今回の議会は特に新年度の予算を審議する重要な議会でもあります。加えて平成 30 年度の補正予算についても審議されました。

平成 31 年（2019 年）度の一般会計予算は、283 億 8,700 万円で、前年度の 292 億 9,800 万円に対して 9 億 1,100 万円の減額となりました。

平成 30 年（2018 年）度の一般会計補正予算は、301 億 7,500 万円まで膨れ上がった予算が、14 億 5,400 万円ほど補正（減額）され、287 億 2,100 万円になりました。

前年度の当初予算と比較すれば 3.1% ほどの減額です。

議案第 6 号（市長等特別職の給与・旅費の条例改正）について、「市長や議員等の特別職の値上げである。市民の暮らしが厳しい中で、特別職の給与等の値上げは行うべきではない」との反対討論がありました。私は「一般職の職員の給与値上げには賛成ですが、人事院勧告だからといって特別職の給与等を即時に値上げするのではなく、議会改革など、やるべきことを行ってからでも遅くない」との考えから**反対**しましたが、賛成多数で**可決**されました。

議案第 26 号の花房坂周辺公園整備事業 889 万円において、見晴らしがいい高台ではなく中途半端なところに造る計画になっているばかりか、この予算は維持管理費については検討中で、正確にはまだ出していないとの意見がありました。公園のみならず何かを造れば維持管理費は発生しますが、市が試算もしていない段階で予算化するには納得がいかず質疑しました。結果は予備費として計上する**修正案が可決**されました。

同じく議案第 26 号において、九州のお米食味コンクールを菊池市で 2 回（平成 29 年、30 年）開催され、平成 31 年からは持ち回り開催とのことでした。ところが、平成 31 年にも予算が計上されていたことで、「一般質問の答弁と施政方針が食い違う」や「関心を示している自治体に開催してもらうよう努力しているのか見えてこない」等の意見

がありました。私は昨年、菊池食味コンクールと九州食味コンクールの開催（2 日間）に参加しました。生産者の方々の励みになることは喜ばしく思います。開催の趣旨にもよりますが、消費者参加型や JA 菊池等とのコラボレーションなど仕組みを見直せば、もっと盛り上がることでしょう。私は市職員等の負担を考えると、菊池食味コンクールにもっと集中して、九州食味コンクールは持ち回りの開催が望ましいと考えます。



百条委員会の設置（案） を再度否決！

荒木崇之議員から、昨年 12 月に続いて「一般質問での答弁と公文書の内容が食い違っている。」などの理由で、**百条委員会**の設置を提案されました。新聞にも掲載され、市民にも関心が広がっているこの問題について、執行部はもちろんのこと議会もチェック機関の立場から事実をはっきりさせる必要があると思います。税金で購入した物品に対して、真相をはっきりさせるための調査を行うのは当然の行為と考え賛成しましたが、**賛成 4 反対 15** で再度否決となりました。

「菊池市中央図書館に納入予定だった海外製椅子 32 脚が入札後、より高価な椅子に契約変更された問題で、市議会は 22 日、再度提出された地方自治法に基づく調査特別委員会（百条委員会）の設置決議案を賛成少数で否決した」

出典 平成 31 年 3 月 23 日 熊本日日新聞 朝刊



政務活動費収支報告

政務活動費とは地方自治法に基づき、地方議員の調査研究やその他の活動に役だてる経費の一部として、自治体から議会における議員に対し公費として支給される費用です。

平成 24 年（2012 年）の地方自治法改正により、それまでの政務調査費から名称が変更され、用途が拡大されました。先般の熊日日新聞に、ある熊本市議の政務活動費の用途について掲載されていましたが、税金で支給されていることを認識されているのか？甚だ疑問です。

菊池市では、月額 2 万円が支給され年間 24 万円です。（私には 6 月からのため 20 万円が支給されました）

①調査研究費（公開請求コピー代）	380 円
②資料購入費（議会運営、議員必携等）	28,424 円
②広報費（市政活動通信作成代）	215,724 円
合計	244,528 円